



マイナビ進学総合研究所

～女子大志望・非志望の理由に迫る～

女子大に関する考察を行う背景

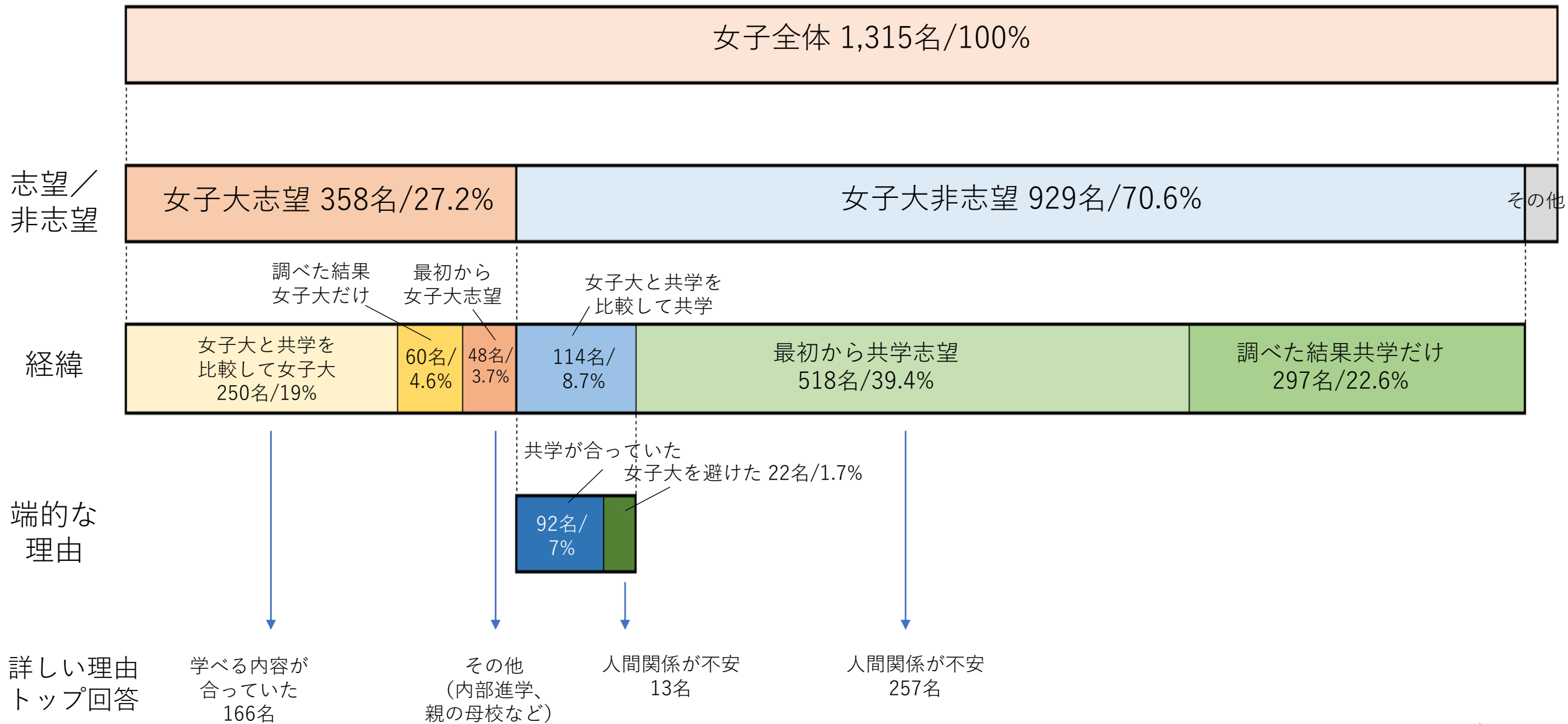
一時期、女子大の募集停止や、共学化のニュースが相次いだ。
それらの中には、「就職に有利」「資格取得サポートが手厚い」といった内容から、「お嬢様のイメージ」「女子だけの環境は怖そう」「学べる内容が限られているのでは」といったものまで、女子大に対する一定のイメージが語られることが散見される。

果たして当の高校生は、女子大に対してどのようなイメージを持っているのか。
志望する理由は何なのか。志望しない理由は何なのか。
女子大に関する調査を通じて、その実態に迫った。

本資料では、マイナビ進学会員定期調査（2023年9月）内の女子大に関する設問をまとめている。調査概要および集計方法は下記の通り。

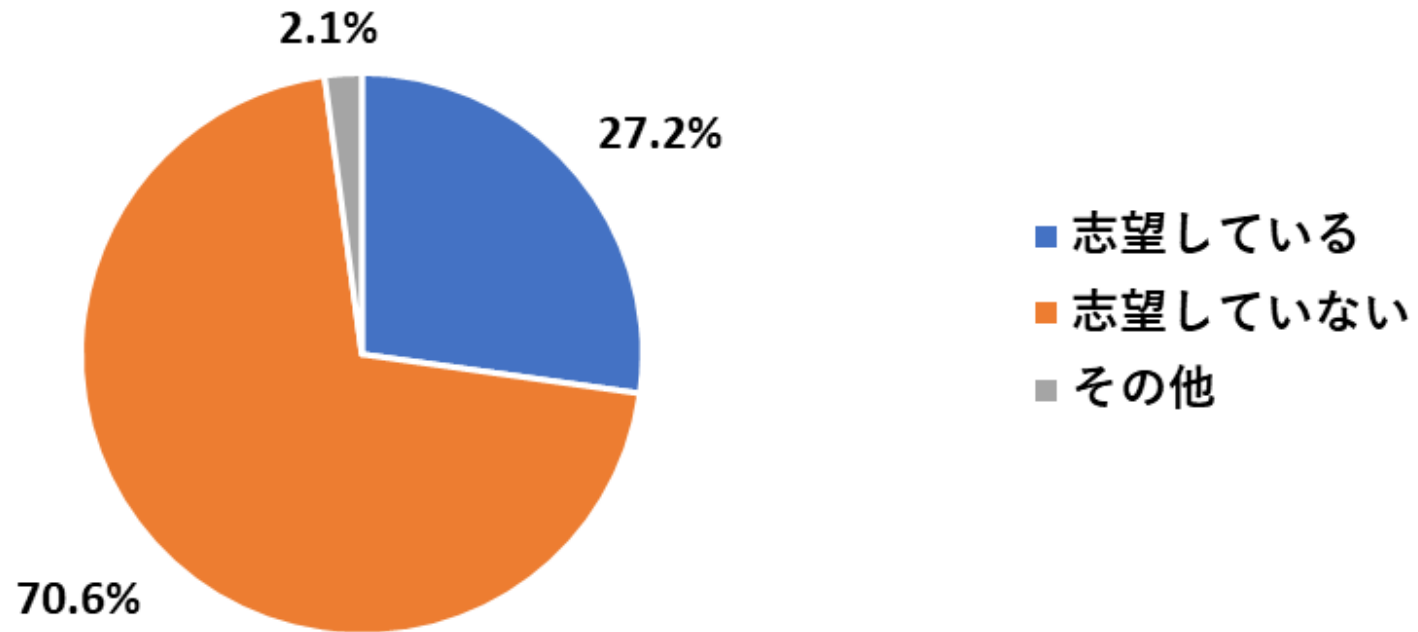
- 調査名 : マイナビ進学会員定期調査（2023年9月）
- 調査方法 : メールにて調査告知を行い、WEBフォームにて回答
- 調査回収期間 : 2023年9月22日（金）～2023年9月29日（金）
- 調査対象者 : マイナビ進学会員の高校生
- 有効回答者数 : 2,162名（3年生：958名／2年生：676名／1年生：491名／他：37名）

回答者の会員IDを照合し、マイナビ進学会員情報の性別が「女」の回答のみ（N=1,315）を抽出。



女子全体の27.2%が女子大・女子短大を志望している。（第2志望以下も含む）

女子大・女子短大の志望者の割合（N=1,315）



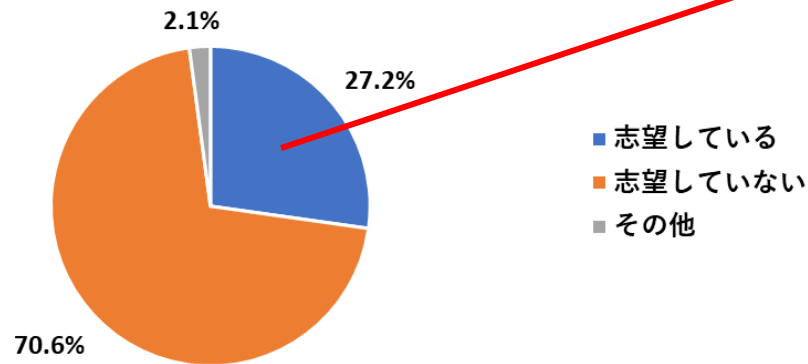
女子大・女子短大の志望者に、志望した経緯を聞いた。

「志望候補群の中に、たまたま女子大・女子短大があった」が約7割を占めた。

女子大志望者の約7割は、**共学と女子大を比較検討した結果、女子大を志望している** (※1) ことになる。

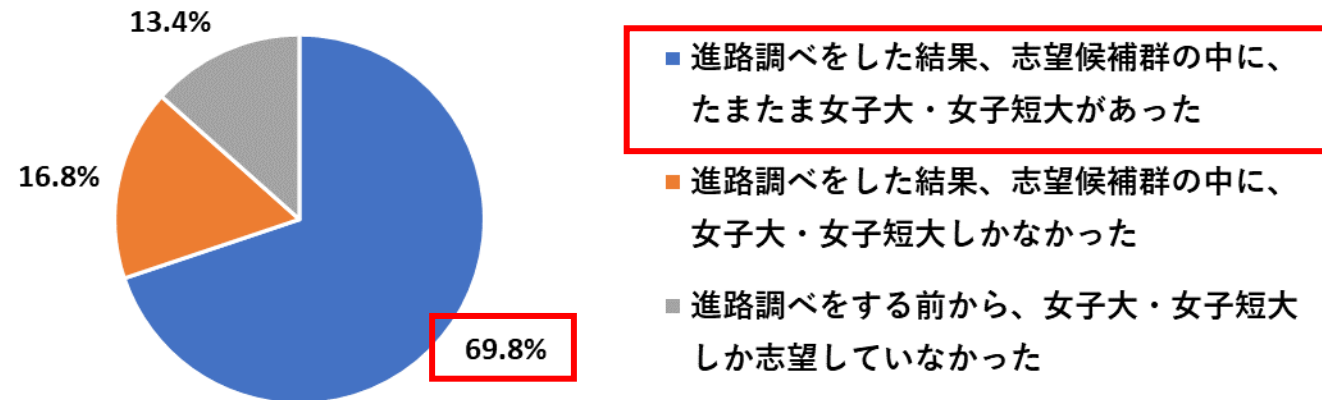
※前ページグラフの再掲

女子大・女子短大の志望者の割合 (N=1,315)



Q.どのような経緯で女子大・女子短大を志望しましたか？

女子大・女子短大の志望の経緯 (N=358)



(※1) 共学と比較検討していない場合は、選択肢「進路調べをした結果、志望候補群の中に、女子大・女子短大しかなかった」を選ぶため

「志望候補群の中に、たまたま女子大・女子短大があった」中で、女子大・女子短大を志望した理由を聞いた。（複数選択）

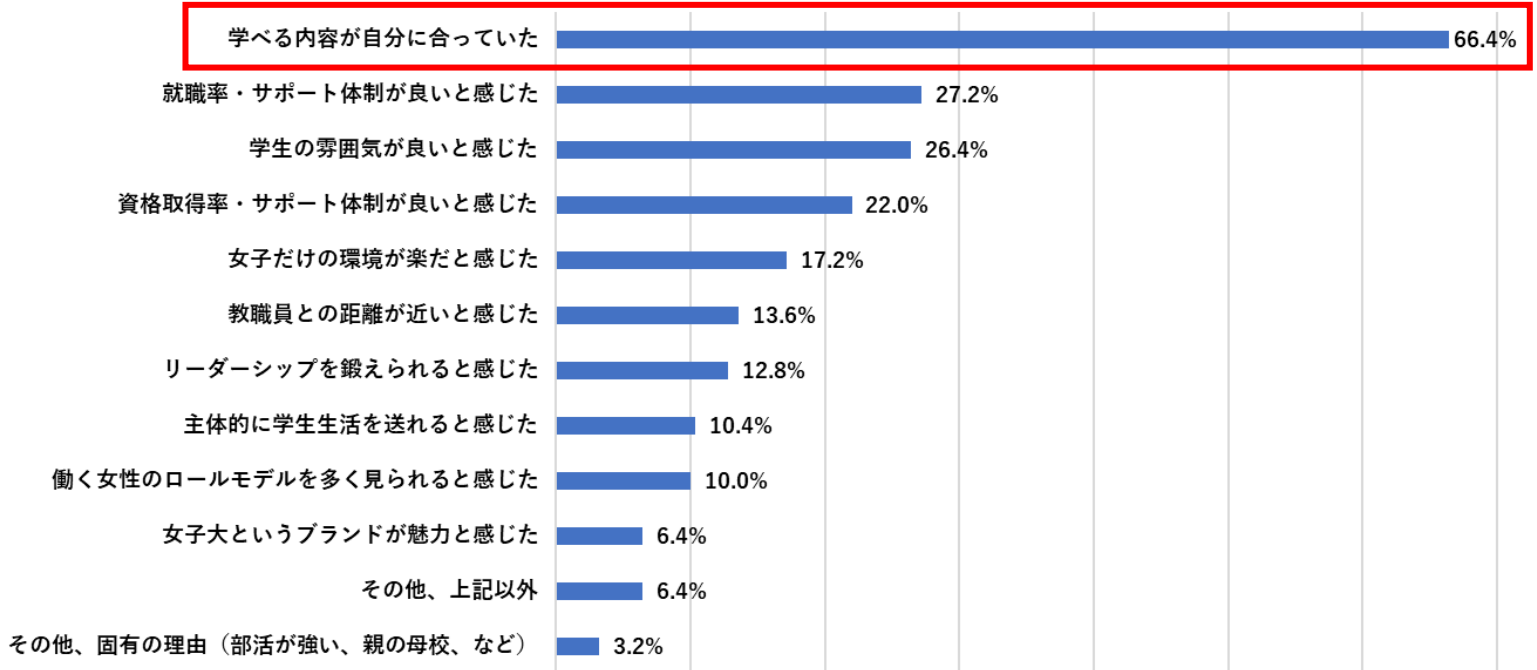
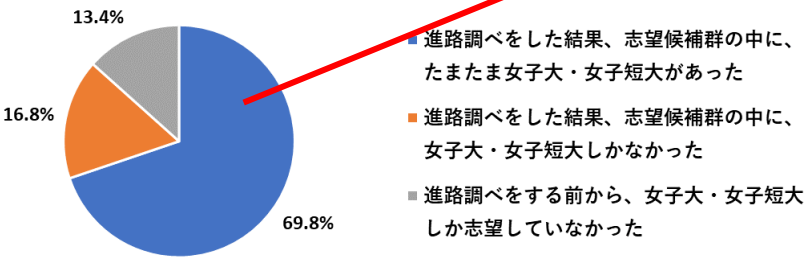
共学vs女子大の比較で、“女子大が競り勝ったポイント”を抽出するのが設問の狙い。

結果、「**学べる内容が自分に合っていた**」が圧倒的多数の票を得た。

Q.あなたが女子大・女子短大を志望している理由としてあてはまるものを全て選択してください。（N=250）

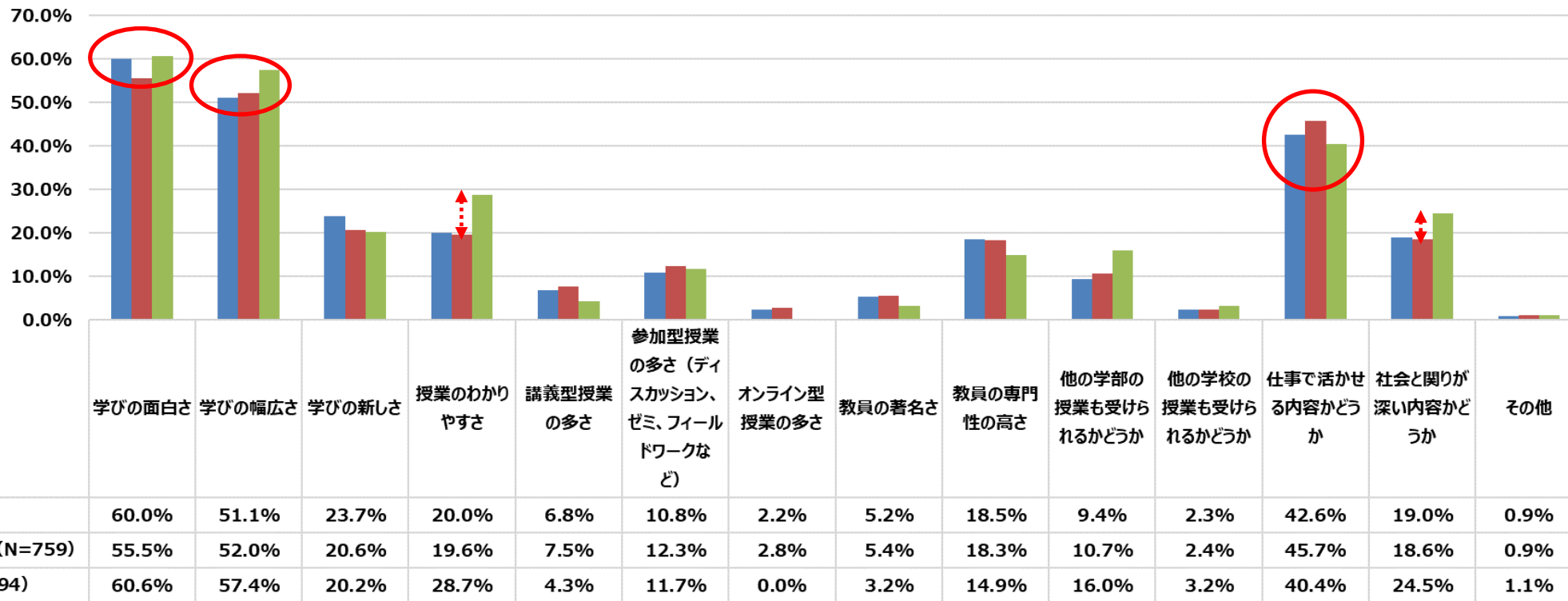
※前ページ右グラフの再掲

女子大・女子短大の志望の経緯（N=258）



学べる内容のうち、さらに重視する項目は何なのか。過去調査結果を3つの対象者にわけて再集計した。
 “女子大・女子短大へ進学する女子”も、“男子含む全体”や“女子大・女子短大以外に進学する女子”と同様に、
「学びの面白さ」「学びの幅広さ」「仕事で活かせる内容かどうか」を重視している。
 また**「授業のわかりやすさ」「社会と関わりが深い内容かどうか」**は、女子大進学層は他の層と比べ、回答割合が高い。

「学べる内容」のうち、あなたが重視した内容は何ですか。（複数回答）

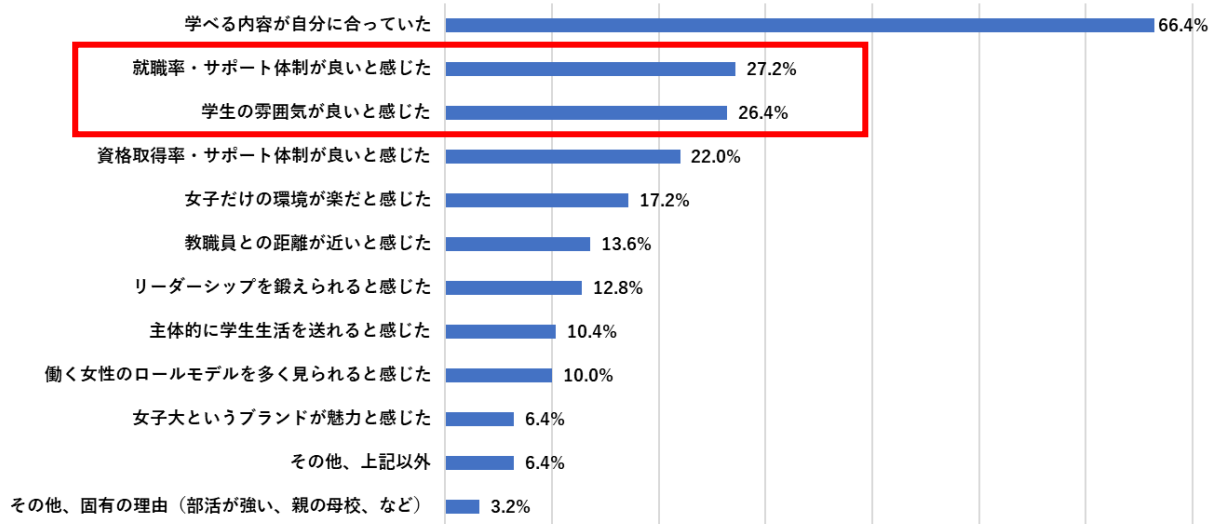


【出典】 高校生の進路意識と進路選択に関するアンケート（2023年3月実施）
 ※対象者：マイナビ進学会員（2023年3月卒の高校3年生）

共学vs女子大の比較検討となった場合、「就職率・サポート体制」「学生の雰囲気」も
 “女子大が競り勝つポイント”になり得るか。
 事実、女子大以外へ進学する女子と比べて、同項目の回答割合は高い。

※P.7右グラフの再掲

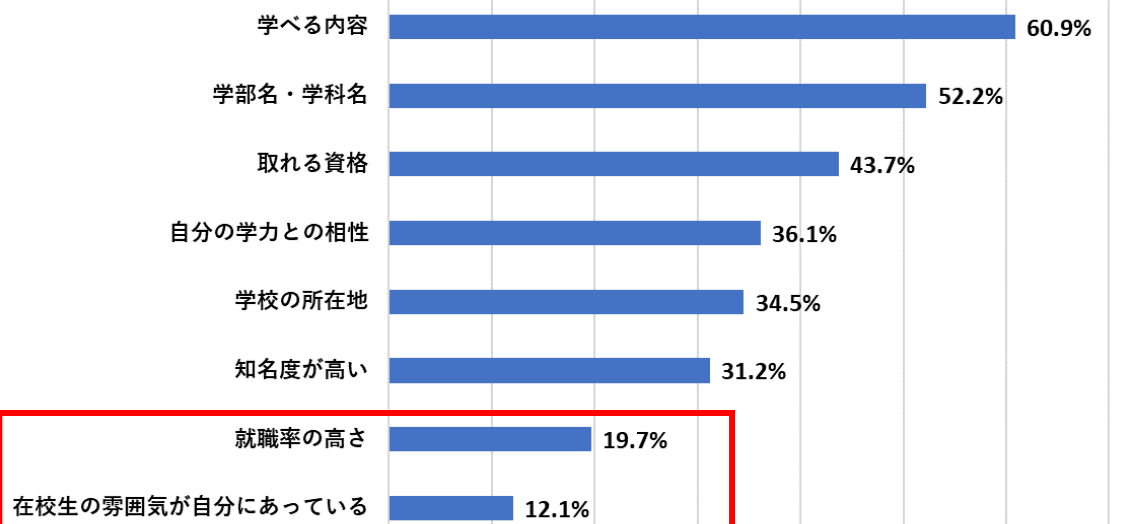
Q.あなたが女子大・女子短大を志望している理由としてあてはまるものを全て選択してください。(N=250)



※後追い調査（2023年3月実施）

Q.あなたが志望校を選んだ時の「重視するポイント」について、あてはまるものを全て選んでください。

※「女子大・女子短大以外」の学校へ進学した「女子」の回答のみ集計（N=1,160）



「進路調べをした結果、志望候補群の中に、女子大・女子短大しかなかった」層は、女子大志望者全体の16.8%となった。

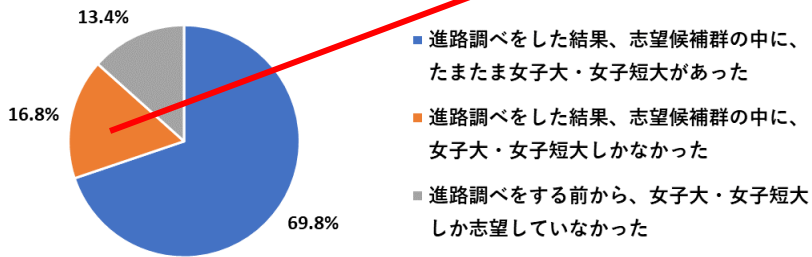
高校生は学べる学問・目指せる職業等から進路調べをするが、
共学の競合がないブルー・オーシャンから獲得できているのは、全体の16.8%。

候補に女子大・女子短大しかなかったから、そのまま志望したと考えられる。
この層には「女子大・女子短大の志望理由」はヒアリングしていない。

共学競合がないブルー・オーシャン（女子大でしか得られない学び、
キャリアパス）をいかに拡充するかも重要。

※P.6右グラフの再掲

女子大・女子短大の志望の経緯 (N=358)



「女子大・女子短大しか志望していなかった」層に、女子大・女子短大を志望した理由を聞いた。（複数選択）

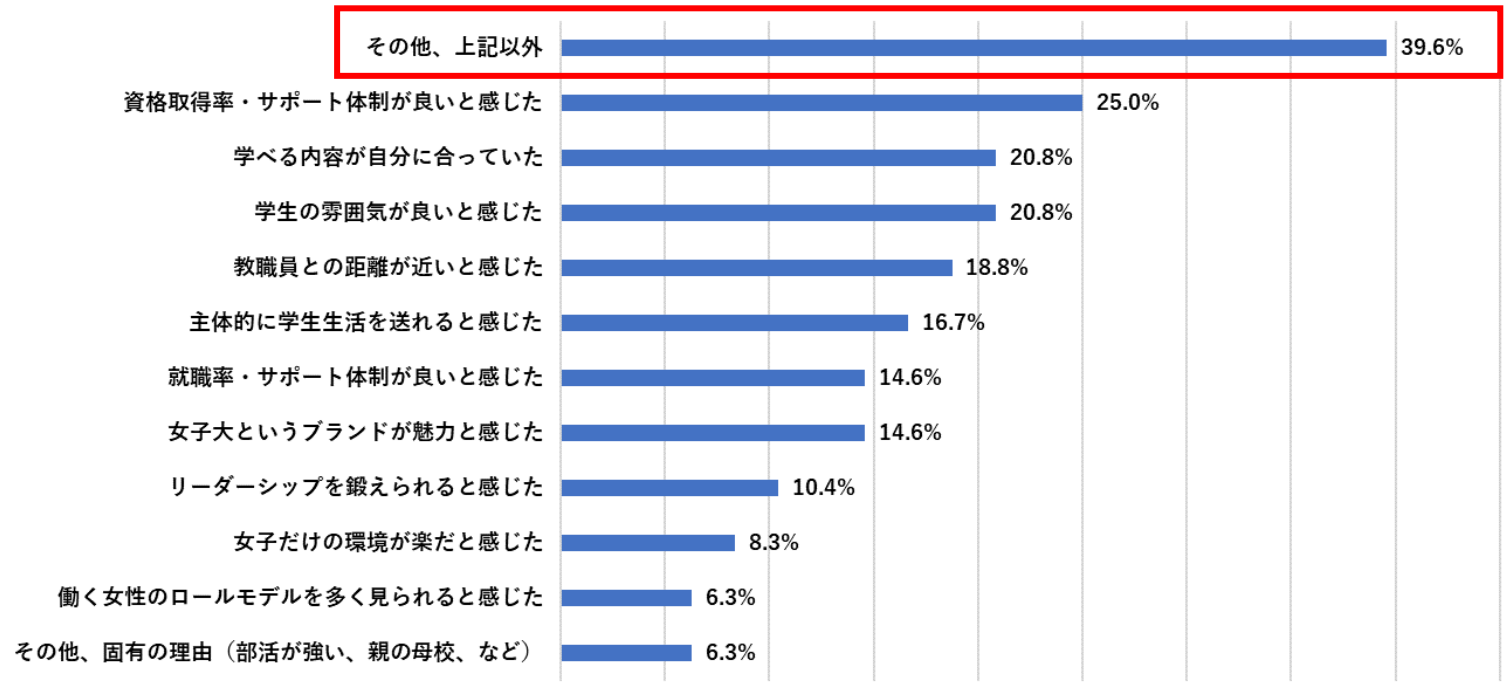
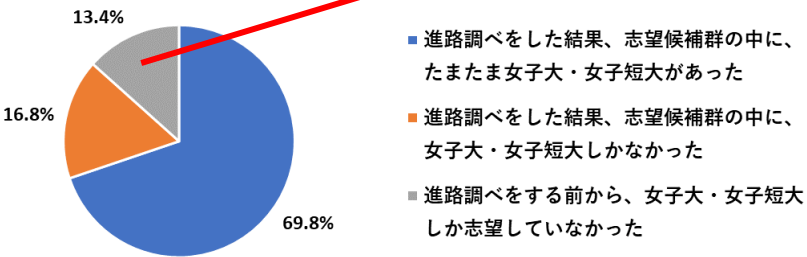
最初から女子大のみ検討する、というニッチ層（女子大志望者の13.4%）の真意を探る狙い。

結果、「**選択肢で表せていない理由がある**」ことが窺えた。

Q.あなたが女子大・女子短大を志望している理由としてあてはまるものを全て選択してください。（N=48） ※N数が少ないため、あくまで参考値としてご覧ください

※P.6右グラフの再掲

女子大・女子短大の志望の経緯（N=358）



そこで、女子大・女子短大を第一希望とする高校生の志望理由（自由記述）を過去調査等から抽出した。
（前ページの選択肢以外のコメントを抽出）

「学べる内容」よりも、**附属女子大への内部進学、親の母校、就職や結婚への期待**、といった事情が窺えた。

志望理由	調査
サポートがとにかく充実している（就職、資格に限らず）	高校生座談会2023年8月
学年関係なくつながりが深いのが魅力と感じた	高校生座談会2023年8月
親から、結婚を視野にいれるなら女子大が有利、と聞いた	新学生座談会2023年4月
女子校に通っているから（附属の女子大へ進学希望）	定期調査2023年9月
母親の母校	定期調査2023年9月
女子教育に期待しているから	定期調査2023年3月
自分のやりたい職業に就くためには女子大の方が有利だと思った	定期調査2023年3月
国立かつ女子大に行きたい	定期調査2022年12月
コミュニケーションが身に付きそうな学校だと思った	定期調査2022年8月

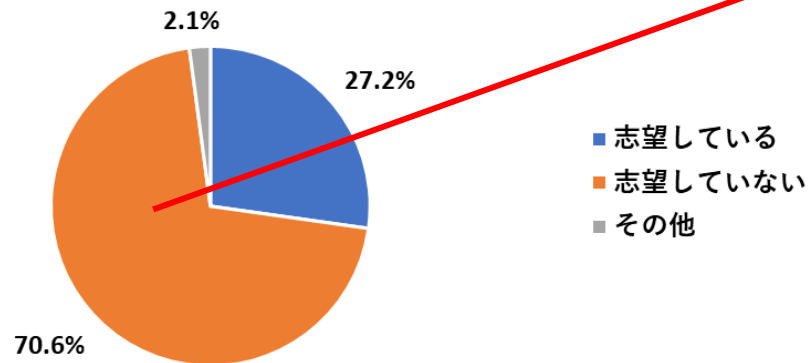
この層からの募集を獲得するには⇒OGへの広報、附属校の新設、附属校からの内部進学率向上、などか

女子大・女子短大の**非志望者**に、志望しなかった経緯を聞いた。

「**共学しか志望していなかった**」が過半数を占めた。

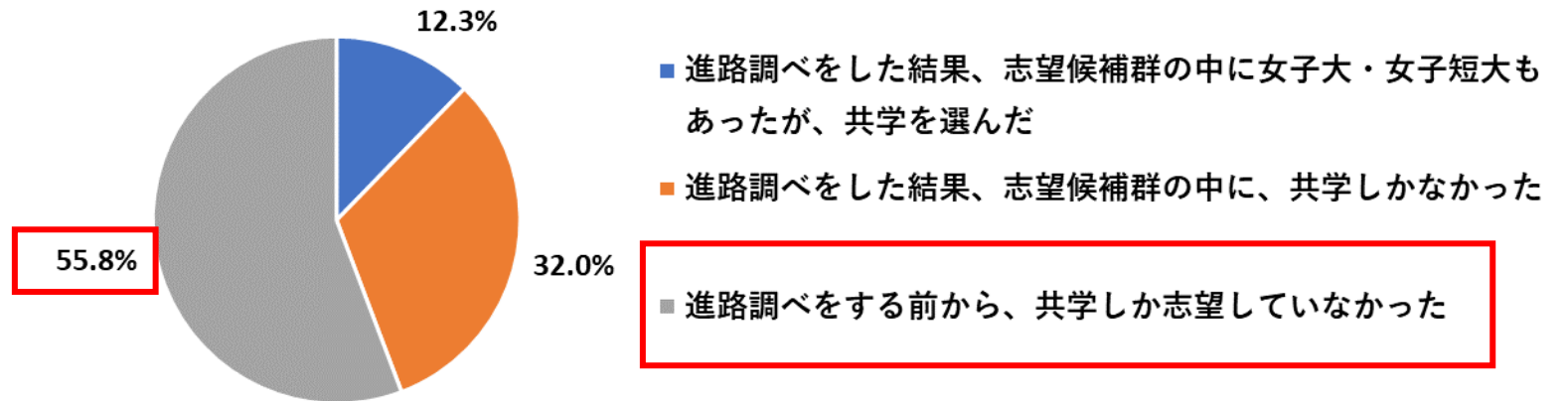
※P.5グラフの再掲

女子大・女子短大の志望者の割合 (N=1,315)



Q.どのような経緯で女子大・女子短大を志望しませんでしたか？ (N=929)

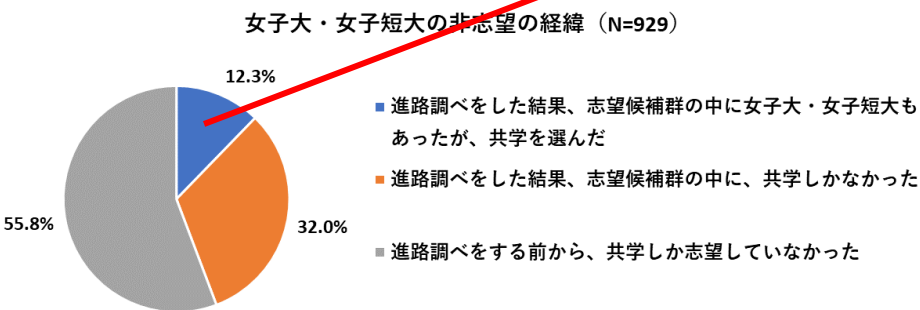
女子大・女子短大の非志望の経緯 (N=929)



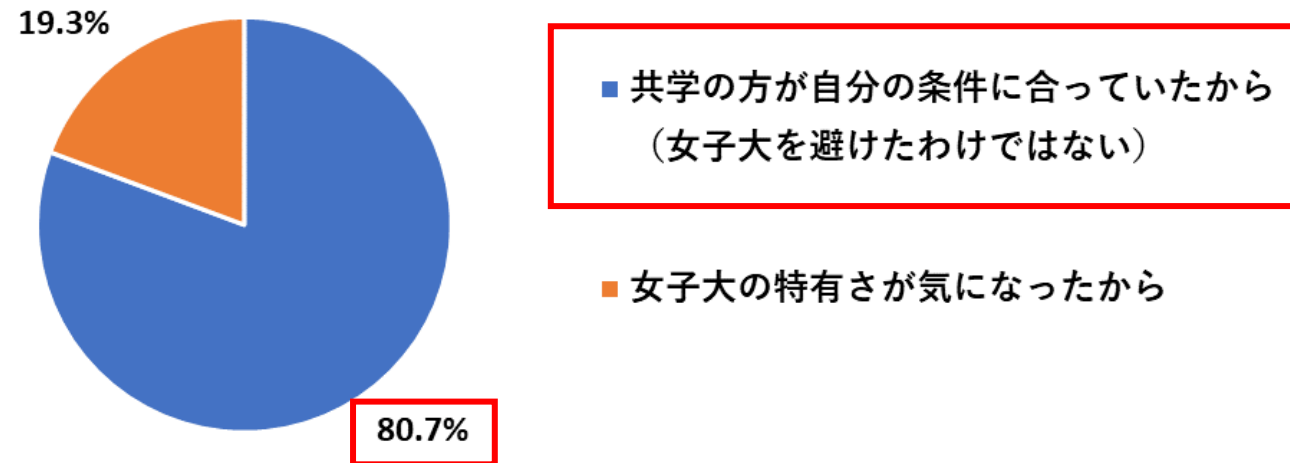
「志望候補群の中に女子大・女子短大もあったが、共学を選んだ」中で、女子大・女子短大を志望しなかった理由を端的に聞いた。ときに揶揄される女子大特有さ（「お嬢様感」「女子大の人間関係が不安」など）が理由で忌避されているのか、実態に迫るのが設問の狙い。結果、高校生が女子大を選ばない実態として、「女子大を避けたわけではない」が8割を超える回答となった。

Q.あなたが女子大・女子短大を志望しない理由としてあてはまるものを一つ選択してください。

※前ページ右グラフの再掲



女子大・女子短大の非志望の端的な理由 (N=114)



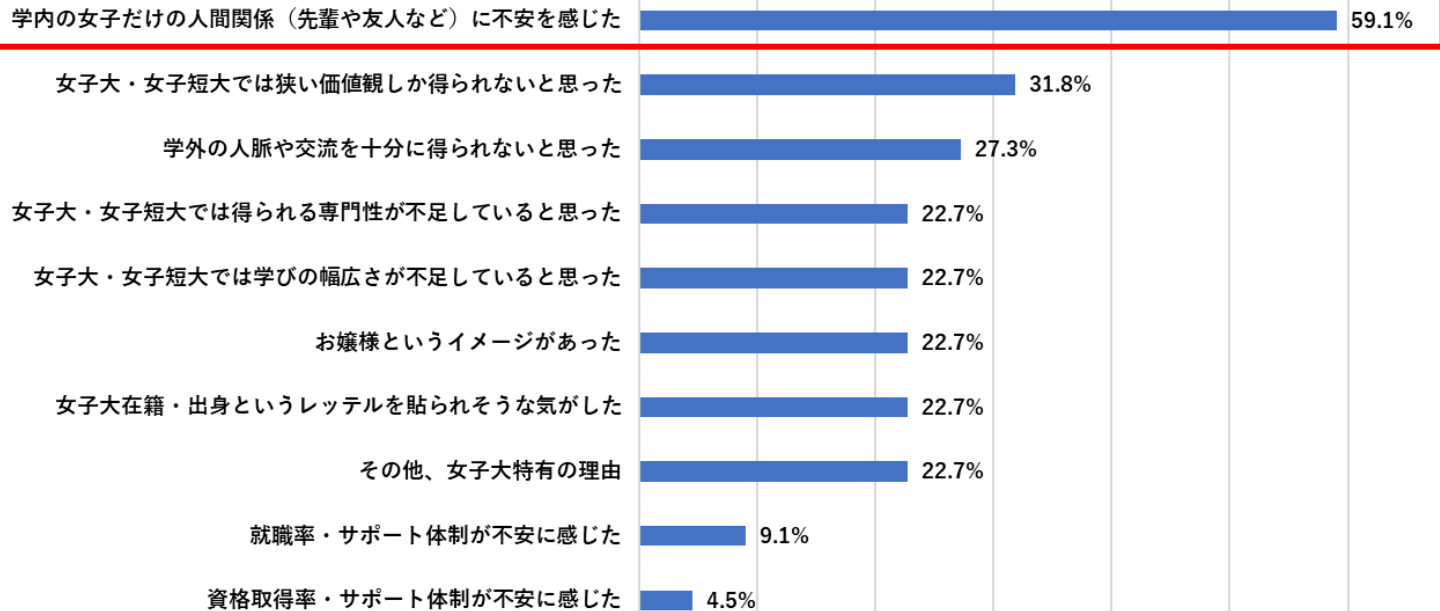
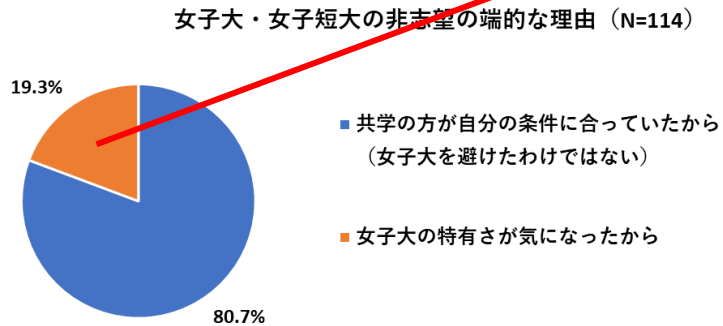
「女子大の特有さが理由で共学を選んだ」層に、女子大・女子短大を避けた具体的な理由を聞いた。

女子大に対して、どんなイメージや考えを抱いているのかを探るのが設問の狙い。

「女子だけの人間関係に不安を感じた」が約6割の回答となった。他項目の回答は約20~30%にとどまった。

Q.あなたが女子大・女子短大を志望しない理由としてあてはまるものを全て選択してください。(N=22) ※N数が少ないため、あくまで参考値としてご覧ください

※前ページ右グラフの再掲



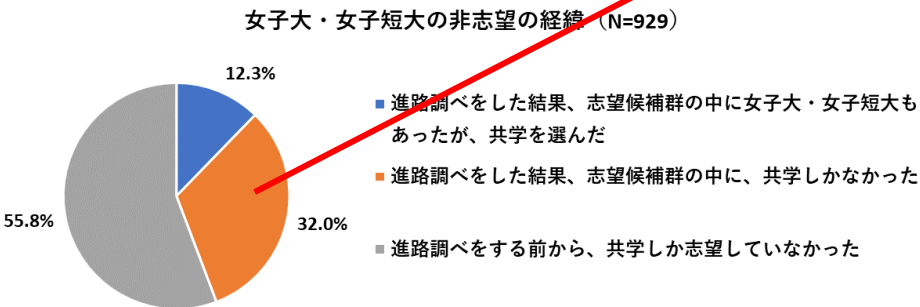
「進路調べをした結果、志望候補群の中に、共学しかなかった」層は、女子大非志望者全体の32.0%となった。

高校生は学べる学問・目指せる職業等から進路調べをするが、
女子大では学べない学問・目指せない職業の場合、**当然ながら候補にあがらない。**

候補に共学しかなかったから、そのまま志望したと考えられる。
この層には「女子大・女子短大の非志望理由」はヒアリングしていない。

この層に対しては、進路調べの際の土台にもあがれていない状況。
学べる学問や目指せる職業を拡充し、まずは候補の土台にあがることも重要か。

※P.13右グラフの再掲

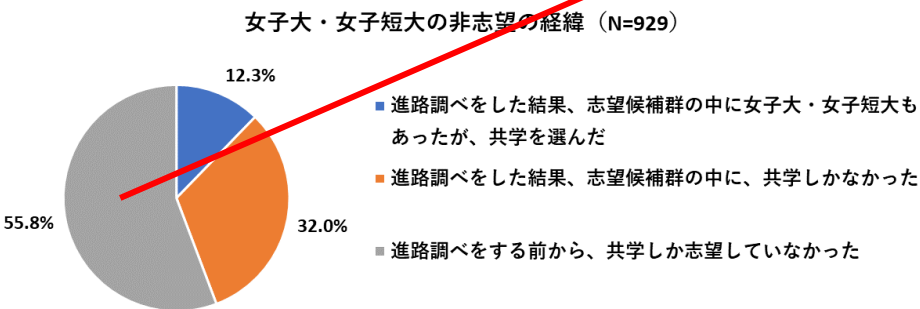


「進路調べをする前から、共学しか志望していなかった」層に、女子大非志望の理由を聞いた。

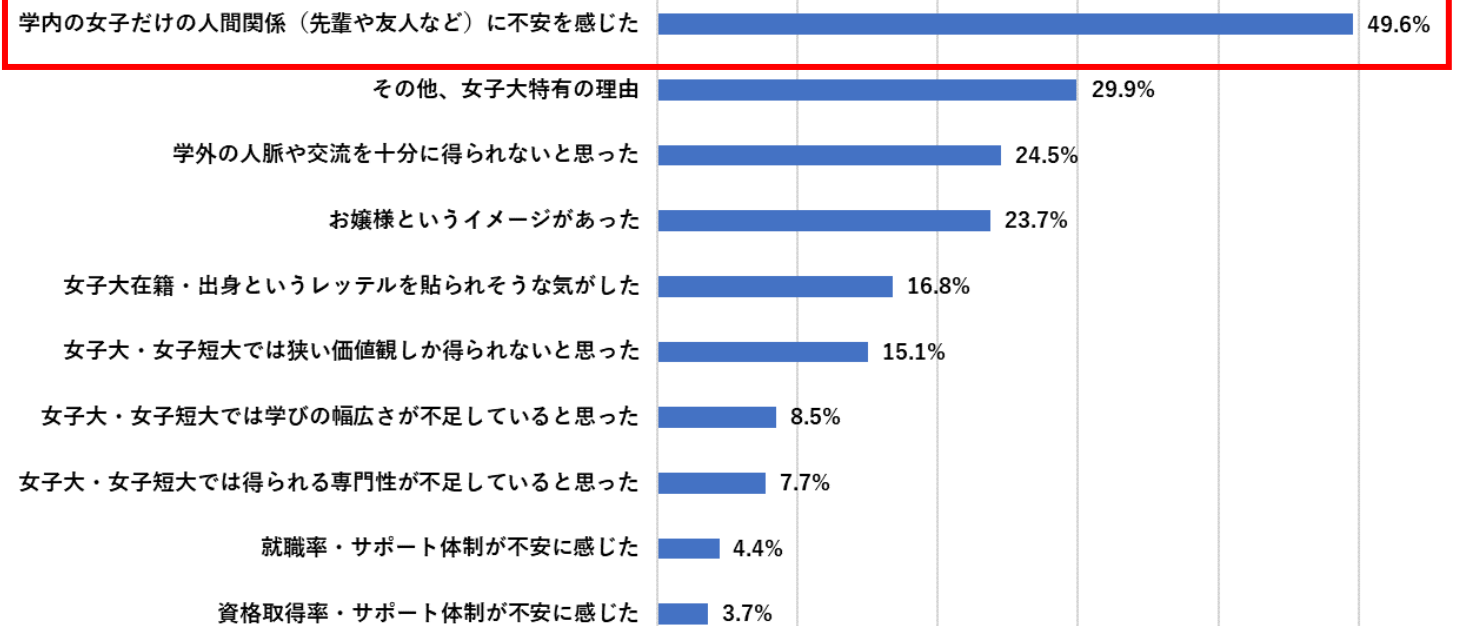
女子全体で見ても最大の層が、女子大の弱みや負のイメージをどのように持っているのかを探る狙い。

この層に対しては、**そもそも女子大の魅力**をさらに発信し、**知ってもらう必要がある**。結果はP.15と同様。

※P.13右グラフの再掲



Q.あなたが女子大・女子短大を志望しない理由としてあてはまるものを全て選択してください。(N=518)



「学び」「キャリア」の土台固めを

女子大の強みと言えば「手厚さ」「就職・資格サポート」
「OGとのつながり」「伝統」といったキーワードが思い浮かぶが、
今回の調査では、高校生が女子大を志望する経緯が見えてきた。

もとより女子大のみを志望している層は少ない。

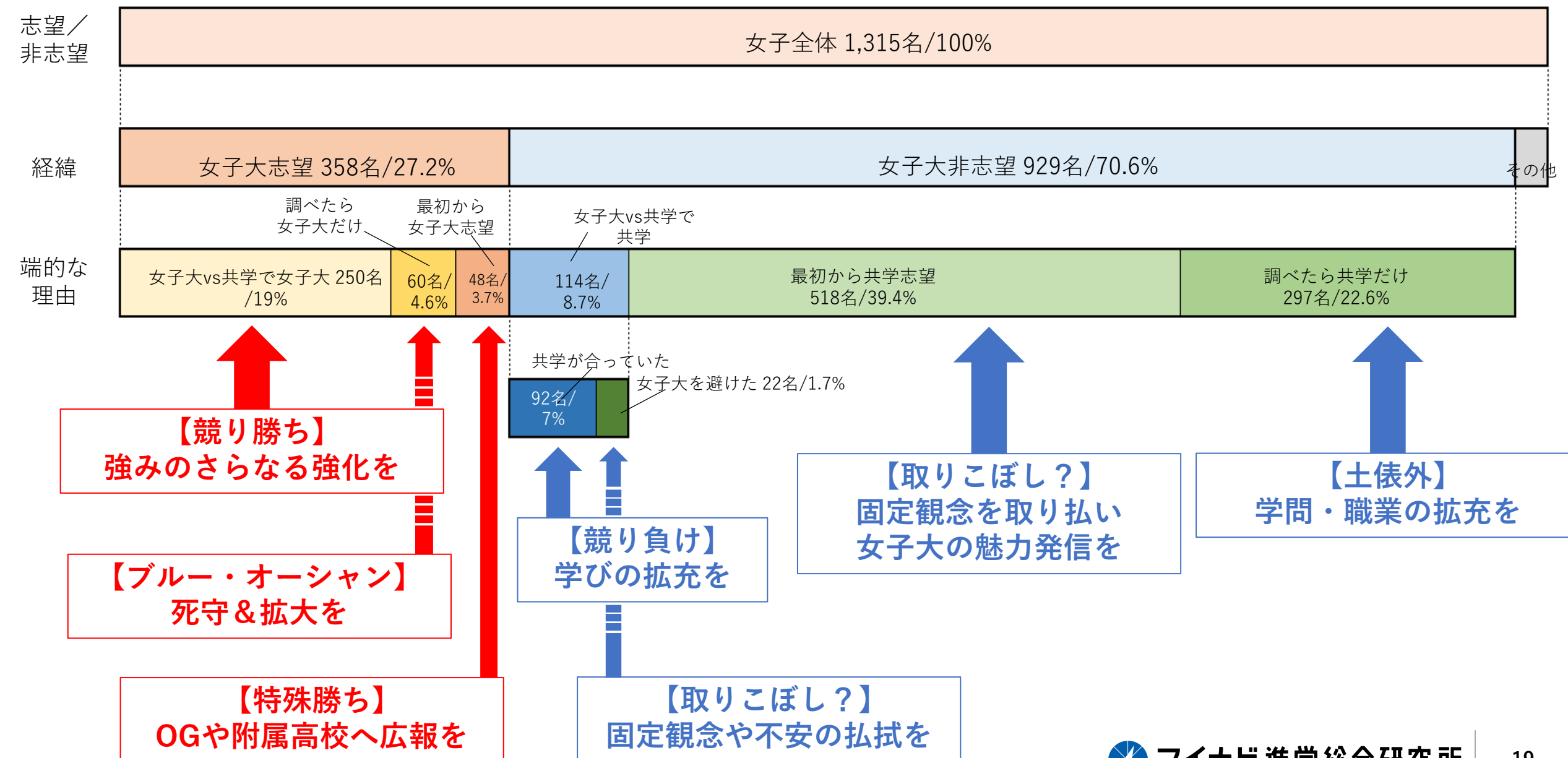
多くの高校生は、「**学べる内容が自分に合っていると思った**」から、その女子大を選んでいる。

逆に、学べる内容が適していなければ、候補にあがることはない。

「共学にはない女子大特有の」強みや弱みを材料にする前に、
今一度ひろく「学び」「キャリア」に目を向け、強化する必要がありそうだ。

一方で、「最初から共学志望」という女子のうちの半数は、
女子大内の人間関係・交友関係に不安なイメージを持っていることも確か。
このイメージを払拭するべく、手を打つ必要もありそうだ。

女子大・女子短大の志望／非志望 まとめ



【競り勝ち】
強みのさらなる強化を

【ブルー・オーシャン】
死守&拡大を

【特殊勝ち】
OGや附属高校へ広報を

【競り負け】
学びの拡充を

【取りこぼし?】
固定観念や不安の払拭を

【取りこぼし?】
固定観念を取り払い
女子大の魅力発信を

【土俵外】
学問・職業の拡充を



マイナビ進学総合研究所

本データを出版・印刷物、WEBサイト等へデータを転載する際には、「※調査名または資料名」（マイナビ進学総合研究所調べ）と明記ください。

資料に関するご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ 未来応援事業本部 企画統括本部 マイナビ進学総合研究所

E-mail : ms-souken@mynavi.jp

URL: <https://souken.shingaku.mynavi.jp>